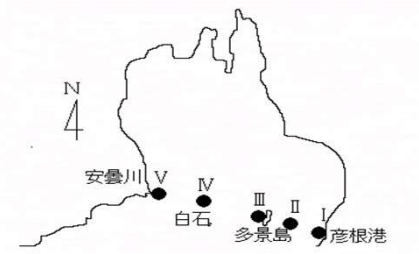
琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年10月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日　令和8年10月13日

調査地点　彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

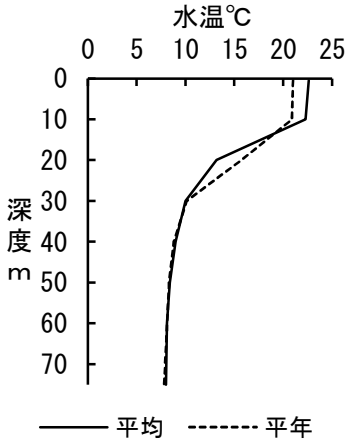
平均値 ･･･　5地点の平均値

平年値 ･･･　透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値
DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

１．透明度　　10月平均値　5.8m　　平年値　5.7m

２．湖水温（℃）

深度(m)	10月平均値	平年値	平年差 (平均値-平年値)
0.5	22.6	21.0	+1.6
10	22.3	20.9	+1.4
20	13.2	15.7	-2.5
30	10.0	10.1	-0.1
40	9.0	8.8	+0.2
50	8.4	8.3	+0.1
60	8.1	8.1	+0.0
75	8.0	7.8	+0.2



３．湖岸水温（℃）

月(旬)	平均値	平年値	平年差 (平均値-平年値)
9月下旬	24.9	23.5	+1.4
10月上旬	22.7	21.8	+0.9
10月中旬	22.3	20.4	+1.9

４．プランクトン沈殿量(ml/m³)

水層 (m)	10月平均値	平年値	平年差 (平均値-平年値)
0～10	16.7	15.0	+1.7
10～20	3.9	4.0	-0.1
20～40	0.7	1.0	-0.3
40～75	0.3	0.4	-0.1

（プランクトンネットNXX14使用）

５．表層のプランクトン優占種

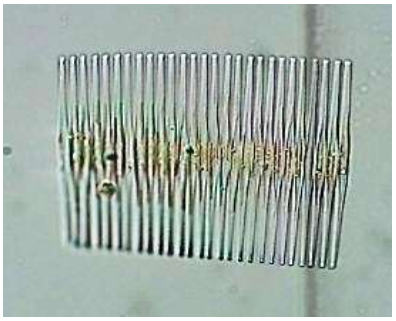
○プランクトンネットNXX14による採集（5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点）

植物プランクトンについては、地点Iで*Aulacoseira granulata*（スジタルケイソウ:珪藻）、地点IVで*Fragilaria crotonensis*（オビケイソウ:珪藻）の細胞数が最も多かった。

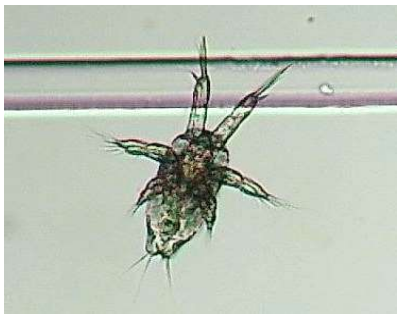
動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



Aulacoseira granulata



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生

６．ＤＯ（溶存酸素濃度：mg/L） 多項目水質計よる測定値

深度(m)	10月平均値		平年値		平年差	
	ＤＯ	(酸素飽和度%)	ＤＯ	(酸素飽和度%)	ＤＯ	(酸素飽和度%)
0.5	9.0	104.2	8.6	99.3	0.4	(+4.9)
10	8.8	101.8	8.5	98.2	0.3	(+3.6)
20	6.6	62.7	6.9	68.5	-0.3	(-5.8)
30	8.3	73.6	8.0	71.8	0.3	(+1.8)
75	4.5	37.9	3.7	31.7	0.8	(+6.2)